

ホストする地域を知ろう!

川西町がホストする地域はどこ!? プエルトリコ

「やあ!」
¡Hola!
(オラ)

ことばは!?

スペイン語

一部英語も話されているが、ほとんどがスペイン語です。

ローマ字で書くと

Puerto Rico

アメリカ合衆国の領域で、プエルトリコ自治連邦区。首都はサンファン。1493年にコロンブスによって発見された。



面積は!?
9,104km²
四国の半分ほど

4つの島からなり、面積は四国の半分ほど。川西町の面積(166.5km²)の約54.5倍。奈良県の面積(3,691km²)の約2.4倍の大きさ。

どんなエリアなの?

美しい港

と言われているエリア

スペイン語で「豊かな港、美しい港」という意味があります。カリブ海の北東に位置しています。



ルキージョ海岸

サンファンから約1時間。おそらく、プエルトリコ最大の海岸といえます。白い砂で覆われた海岸、静かな水の嘯きとカリブ海特有のヤシの木が特徴的です。



クレブラ島

カリブ海の壮大な景色が楽しめる、まさにパラダイス島!スキューバダイビングが楽しめます。

「はじめまして」
¡Mucho gusto!
(ムーチョ グスト)

「さようなら」
Adiós.
(アディオス)

「私はスペイン語を勉強中です」
Estudio español.
(エストゥディオ エスパニョール)

お勉強! ちよつと

プエルトリコの見どころは!?

カリブ海の楽園



カリブ海に位置し、年中平均気温は27度と熱帯沿岸性気候で、明るく陽気なイメージが強い島です。一方、他国からの攻撃を防ぐために作られた歴史的建造物も残されています。

エル・モロ要塞(ようさい)
[サン・フェルナンド・デル・モロ要塞]



1983年に世界遺産に登録。島の北西部に位置し、1539年サン・ファンに入港する船を監視する目的で建設。海面からの高さ40m、厚さ6mの外壁をもつエル・モロ要塞は、400基を超える大砲が設置されていたそう。当時難攻不落の要塞といわれていました。

エル・ジュンケ国立公園

北部海岸に位置する、雨が多く亜熱帯性の森。アメリカ森林局が運営。小道の整備も入念にされており印象的な植物が楽しめる。道中にある滝も人気。



ボンバス公園(ボンセ)



ボンセの街は、プエルトリコで最も重要な都市です。ボンバス公園は、19世紀末期に建てられた古い消防署です。この上なく独創的な建物で、博物館への変遷を経て108年に渡り運営されています。

プエルトリコ選手のみなさん



ルイス・ハプディエル・パレス・ディアス
柔道
柔道黒帯(初段)
66キロ級

網膜色素変性症
2018年プエルトリコ全国選手権 準優勝(目の見える選手との試合)
2019年パンアメリカン競技大会 ペルー リマ 銀メダル



ハビエル・エルナンデス
水泳
100m、200m自由型
100m平泳ぎ、100m背泳ぎ
50m、100mバタフライ
200m混合

★100mバタフライ(金メダル)
★200m混合(銀メダル)
★200m自由型(銀メダル)
★100m背泳ぎ(銅メダル)



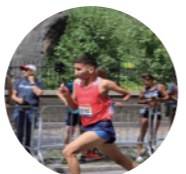
ガルヴィン・パベス・エリサ
水泳
50m、100m自由型
50m、100m平泳ぎ

S12 視覚障害
★100m自由型(5位)
★100m平泳ぎ(銀メダル)
★50m自由型(銅メダル)



カルメロ・リベラ・フエンテス
陸上
1500m

T20 知的障害
★1500mで
2021年東京パラリンピック
出場に必要とされる
4分09秒を記録。



アンセルミ・ミランダ
陸上
400m
1500m
3000m

T47 四肢欠損
★1500m
タイム:4分28秒
★400m
タイム:57秒

競技種目

出場種目

障がいレベル

実績
★2020年
カリナショナル
オープン
コロンビア
出場記録



浜松市提供



鈴木 徹選手
パラ走り高跳び
東京オリンピック・パラリンピック
山梨市アンバサダー

ホストタウンプロジェクトとは?
オリンピック・パラリンピックの開催で多くの選手や観客が来訪することをきっかけに、スポーツ振興、教育文化の向上及び、共生社会の実現を図ることを目的とし、各自治体から登録を受けて実施する事業です。川西町は、町民のみならず、スポーツに親しむ環境を作っていきたいという思いを掲げ、ホストタウン事業に手をあげました。

2020年9月、「プエルトリコ」のみなさんをホストすることが決まり、2021年8月24日～9月5日まで開催されるパラリンピックを応援するとともに、令和2年を「パラスポーツ元年」と位置づけ、「多文化共生社会の推進」「スポーツ振興」「魅力発信」の分野を発展させながら、本プロジェクトを遂行していきます。

パラリンピック
応援大使が
活躍!

かわにしこども課

子どもたちは、パラリンピアン(パラリンピック競技大会の出場選手)との交流を通じてパラリンピックを盛り上げていきます。事前に募集をかけた地元小学生・中学生のメンバーが、10月14日にパラリンピック応援大使に任命されました。プエルトリコとオンラインで繋がったり、パラリンピアンのインタビューをしたり、応援大使の情報発信は、かわにしこども課 Facebookでチェックしてね! →



川西町オリンピック パラリンピック協議会



川西町が一丸となってホストタウン事業を盛り上げるために協議会を設立しました。メンバーは、スポーツ文化、障がい者の理解、学校での取り組み、商工との関わりを持っている方々を選出しています。さまざまな視点でご意見をいただきながら事業に取り組んでいきます。



beyond
2020

ホストタウン

ホストタウンに登録! 川西町からパラリンピックを応援!



親愛なる川西町の皆様へ

二国間におけるスポーツ文化交流という大変素晴らしい機会を開催して頂き、御礼申し上げます。距離も離れており、また言葉も違いますが、人としての人間的な温かさや、未来の世代を全ての人にとってより良い世界にしていきたいという願いで致しております。

技術のおかげで私達は距離が短くなり、そして環境も無くなりました。この心温まるスポーツ文化交流の開催が、私達が築いてきた親密な関係の象徴となり、私達の心もまた結びつきます。

素晴らしい川西町における開催関係者の皆様、そして町民の皆様には大変感謝しております。

ヘルマン・パレス・ドロリゲス
プエルトリコパラリンピック委員会 会長

スケジュール

2021年					2020年			
9月	8/24	2月	12/18	11/14	10月~12月	10/25	10/24	9月
プエルトリコ選手来町	ホストタウンハウスにて川西町PR	東京2020パラリンピック競技大会開催(9月5日まで)	NPCC関係者交流会成果報告 ゆるスポお披露目	「挑戦」西崎哲男選手、パラリンピアン特別講演 「おきかめな心」伊藤真波選手	「差別をなくす」町民集会講演 「おきかめな心」伊藤真波選手	川西町オリジナルゆるスポをつくろう! (2月お披露目)	ゆるかわスポーツ開催	ホストタウン決定

※NPCとは、プエルトリコパラリンピック委員会の略です。